

指定障害者支援施設

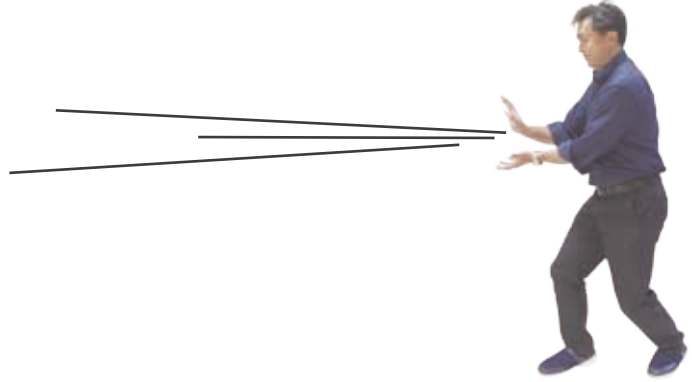
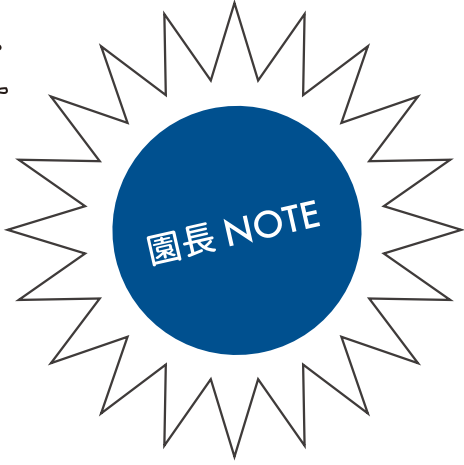
さやま園 ▼▲● だより

GOOD DAY SUNSHINE PROJECT!



No.207

2019.Apr.



荒井園長 編

## 新年号の始まり

自転車通勤していると、冬と春の境目を肌で感じ、春の日差しがとても心をウキウキさせてくれます。

私の住んでいる近くに、玉川上水から分岐した小川用水というほんとに小さな川が流れています。そこに5～6年前に桜の木が5本ほど植樹され、まだまだ子供の桜の木ですが、それは見事に濃いピンクの花を咲かせています。枝にはメジロが止まり、花びらの根元をついばみ花が地面に落ちています。早咲きの桜として3月の半ばには満開でした。

春の訪れは、別れと新しい出会いの季節でもあります。

さやま園では、30年度の振り返りを行ない、新しい年度の新しい取り組み、これまでの取り組みのさらなる充実などなど、利用者がより安心して安全な生活が送れるように、そして、自身の存在価値が得られる生活であることを大切にしながら取り組んでいこうと思います。さやま園職員としてのモットーは「笑顔で明るく、楽しく元気に」です。

一番簡単であり、一番難しいことです。しかし、誰もができることです。

支援者としてのスキルや知識を高め、専門職としての誇りと責任をもって取り組んでいきたいと思えます。

平成31年度は（元号代わりますね!）、さやま園の近くの駐車場のフェンスに、さやま園で活動している様子を写真などで飾り、「ギャラリーロード（仮）」「ギャラリーの小路（仮）」として、もっと身近なさやま園として活動していきたいと思っています。

7月には、夏祭り、10月にはさやま園祭、また年2回のワークショップも開催します。

クッキーやブタレーヌなども色々な場所で販売いたします。

皆さん、さやま園の利用者・職員の活動にご期待ください。そしてさやま園に気軽に足をお運びください。一緒に手芸や陶芸、音楽や体操などをしましょう!お待ちしております!!

園長 荒井隆夫

# えいが みちくさ み 映画「道草」を観て

こんにちは。広報担当の渋谷です。  
先日『道草』という映画を観てきました。映画監督はさやま園 50 周年記念映画を作製してくださいました。先戸監督。広告担当が広報誌「カルミア」などを担当して下さっているデザイナーの林さん。それを知ってこれは観なくちゃと思ったのですが、観終わったらとても素敵な作品でファンになったので皆様にもシェアしたくなり筆を走らせている次第です。

映画には 4 人の主人公がいました。重度の知的・精神障害があるなかで、介護者つきのひとり暮らしをして居場所を見つけた人。暮らしながら居場所を探している人。自分探しの旅を介助者としてしている人。心地よい場所はどこなのか探している人。そしてその人たちの暮らしを支える介助者の話。

ある主人公の仕草や行動にほっこりさせられたり、介助者との掛け合いにクスツとさせられたり、思いが伝わらずどうしようもない苛立ちから他害行動をせざる終えない姿や、その行動の前にその人の思いを汲み取れなかったもどかしさを抱える介助者の姿に胸がぎゅっとなったりしました。

物語はきれいごとだけじゃないけれど、映し出された映像全てがなぜかあまりにも美しくみえて最後には涙が出てきました。涙が出てきたのは日々の支援を反省してか、私のおばさん化が止

まらないだけなのかもしれないですが（苦笑）

公式 HP では以下のとおり説明されています。

暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害のある人。世間との間に線を引かれ、囲いの中へと隔てられた。そんな世界の閉鎖を、軽やかなステップが突き破る。

（一部省略）

タンポポの綿毛をとばしブランコに揺られ、季節を闊歩する。介助者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。けど、関わらなくなることで私たちは縮む。だから人はまた、人に近づいていく。

映画「道草」公式HPより

上の言葉を借りるならば、さやま園は利用者の方にとって限られた暮らしの場です。しかし、そんな限られた暮らしの場でも、世間との間にある線を薄くしたり、囲いを低くしていくことはできるのではないかと考えています。

映画の中で誰かが、この社会の中で障害者がいる意味ってあるのではないかと書いていました。私には人が存在する「意味」があるのかわからないので「障害者がいる意味」があるのかわかりませんでした。でも、障害者と呼ばれているだけで同じ人なので、意味とか価値とかそんなの置いておいて、いて当たり前前の社会であってほしいと思っています。

今はまだその段階ではないかもしれない。今はまだ閉ざされた状態かもしれない。でも、だからこそ、『だからまた人は近づいていく』を期待してしまう。

この映画はその架け橋になるのではないかと考えた作品でした。



<http://michikusa-movie.com/>

# ぴゅああーと展<sup>てん</sup>



2月14日、15日にぴゅああーと展を見学に行ってきました。

さやま園の皆さんの作品はもちろん、他施設の方の作品も素晴らしかったです。絵や陶芸作品、習字、造形作品など作者の芸術魂が感じられる作品ばかりでした。さやま園の利用者さんと過ごす中で同じ景色を見ていても見方や風景の切り取り方が違ったり、私たちが思いつかないような形や色の組み合わせを作ったり、不思議な図面のような絵を描いたり皆さんの感性に驚く事があります。

改めて皆さんの不思議な感性やセンスを感じました。見学に行った利用者みなさんも「これいいね」「これわたしのだよ」と作品を一点一点見つめていました。

さやま園の芸術家の皆さん、素晴らしい発想力でこれからも素敵な作品をたくさん生み出してください！楽しみにしています。

## さやま園利用者さんの入賞作品



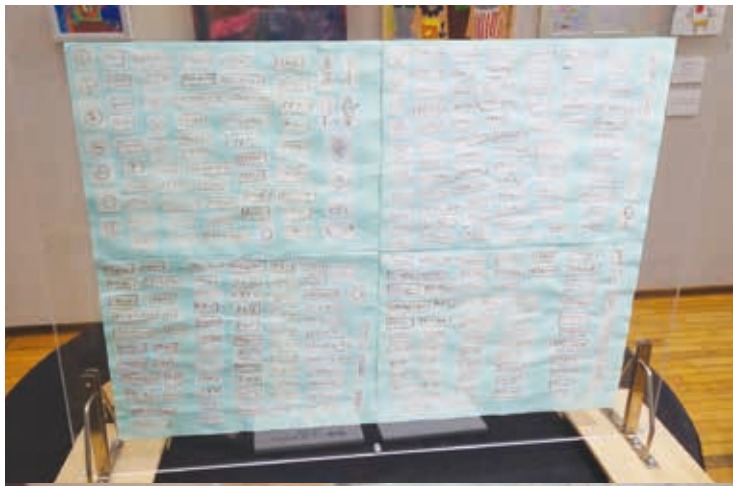
TITLE: 『チャンピオン』  
作者: 鬼頭さん (造型所属)  
コメント: 賞が取れてよかった



TITLE: 『美魔女ストール』  
作者: 大野さん (くれあ所属)

『多摩六都フェア 第13回ぴゅああーと展』とは？

この作品展は六都（小平市、東村山市、清瀬市、西東京市（旧田無市と保谷市が合併）、東久留米市）が行なっている文化事業の一環です。障がいのある方の芸術・文化活動を深めることを目的とし平成5年から行われています。毎年11月に公募が行なわれ、2月の中旬が展覧会となっています。



TITLE: 『バラエティ新聞』  
 作者: 福岡さん (造型所属)  
 コメント: 作品が戻ったら飾りたい



TITLE: 『パンプキン』  
 作者: 橘さん (陶芸所属)  
 コメント: よかったよ、あんちゃん



TITLE: 『海の底』  
 作者: 石井敦子さん (くれあ所属)  
 コメント: 海の底を思い描いて作りました。



TITLE: 『みえことのぶえ』  
 作者: 高橋さん (造型所属)・石井美恵子さん (くれあ所属)  
 コメント: これはねこさんです。/ 毎日頑張って作った。



TITLE: 『仲良しパーティー』  
 作者: 坂東さん (造型所属)  
 コメント: いっぱい作品があつてよかった。



ほか  
 他のみなさんの作品が  
 とてもよかったです。  
 風鈴作りは初めてで入選  
 できて嬉しかったです。

TITLE: 『やさしい風のね』  
 作者: 石原さん・依田さん・田丸さん・植松さん・坂東さん・安東さん



わたし いぜん こくりつせいしんりょうようじょ こくりつけんきゅうかいほつほうじんびょういん  
私は以前、国立精神療養所、国立研究開発法人病院

ぶもん ながのけん こくりつびょういんきこしゅつこう ねんかんたんしんふにん  
部門、長野県の国立病院機構 7年間単身赴任

してました。けい ねん こうむいんせいいかつ す  
していました。計34年の公務員生活を過ごしました。

せいしんりょうようじょ きんむちゅう せんそう せんち せいしんびょう ほつしょう  
精神療養所に勤務中、戦争(戦地)で精神病を発症

した「傷痕軍人」とかか も せんち かいがい  
した「傷痕軍人」とかかわりを持ちました。戦地(海外)

ほんごく そうかん ふるさと もと こくりつせいしんりょうようじょ  
から本国に送られても故郷に戻れず国立精神療養所

(むさし、しもうさ、ひぜんりょうようじょ、こうのだい、こくりつぐんびょういん  
(武蔵、下総、肥前療養所、国府台、小倉陸軍病院など)

にゅうしょ にゅういん かんじゃ みふくいんへい よ  
に入所・入院した患者さんたちで「未復員兵」とも呼ば

れていました。

さくねん がつ NHK テレビのドキュメンタリー制作に協力、

NHK E テレ、BS1で「隠された日本兵のトラウマ～陸

軍病院8002人の病床日誌」として4回にわたって放送さ

れました。平和で暮らしていた農民、漁師、工員、職人

ひとびと せんそう しょうしゅう ころ ころ せいしん  
などの人々が戦争で召集され殺したり殺されたりして精神

びょう せんそうしんけいしやう そうそびょう せいしんぶんれつしやう とうごうしつちやうしやう  
病(戦争神経症～躁病～精神分裂症～統合失調症)

を 発症しました。はつしょう へいし ふそく ちてきしょうがい  
を発症しました。兵士が不足すると知的障害のある人も

しょうしゅう ちゅうごく ちやうせん みなみたいへいよう とうなん つ い  
召集、中国や朝鮮、南太平洋、東南アジアに連れて行

きました。いちばんはらだ ちてきしょうがいしや やく た  
一番腹立たしいのは、知的障害者は「役に立たなかつ

た」と言って軍人恩給の対象から外したことです。国の

都合で 徴兵して 恩給の 不支給を行なったのです。しょうがいしやさ  
都合で徴兵して恩給の不支給を行なったのです。障害者差

別の 悪しき見本です。そのことが 障害者雇用率の水増し、  
別の悪しき見本です。そのことが障害者雇用率の水増し、

勤労統計調査の「嘘」につながっていると思います。か  
勤労統計調査の「嘘」につながっていると思います。か

つて 勤めた 職場の 本社(厚労省)の 不祥事に 恥ずかしい  
つて勤めた職場の本社(厚労省)の不祥事に恥ずかしい

思いと 怒りで いっぱい です。おも いか  
思いと怒りでいっぱいです。

いむしつ しもた  
医務室 下田

りょうしや き しんねんど ほうふ  
利用者に聞いてみた！新年度の抱負！



さが  
ミカメを探せ！

カルミア内にひそむ“ミカメ”を探せ企画！今号は“偽物のミカメ”3人と“本物のミカメ”1人が潜んでいます。さあ本物のミカメを見つけよう！

へんしゅうこうき  
編集後記

いよいよ新年度が始まりました。新しい出会いの時期でもあります。皆様も色々な出会いがあるといいですね。そして今年度もたくさんの方にカルミアと出会っていただければ幸いです。今年度もよろしくお願ひします。

